

和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
アカタテハ	タテハチョウ科	代表的なタテハでヒメアカ タテハに似ている	○	○	○	全国								
			成虫発生時期 (月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹	発生回数/年		越冬形態									
カラムシ、イラクサほか			3~4		成虫									



中野島 ハイム内 9月上旬

「よく見るタテハチョウ」としてキタテハと並んで代表的なタテハで、活発に飛翔しては花を訪れ、樹液にも来ます。秋には個体数が増えますが、秋の多摩川土手ではヒメアカタテハに圧倒されています。ヒメアカタテハとの違いは微妙ですが、並べてみると模様も色調もわずかに違うのがわかります。



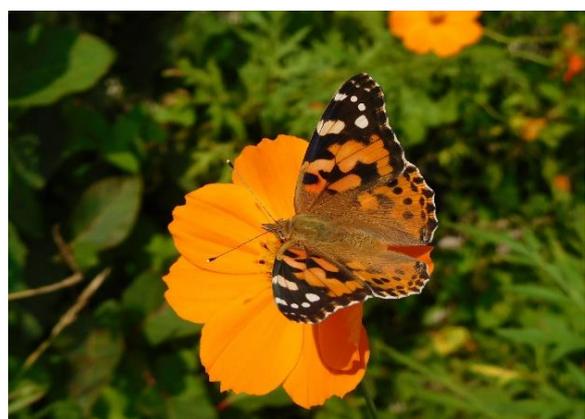
伯耆大山 8月上旬 アカバナシモツケで吸蜜



ヒメアカタテハ 多摩川土手 中野島 10月初旬
キバナコスモスで吸蜜



アカタテハ 入笠山 8月下旬
マツムシソウで吸蜜



ヒメアカタテハ 多摩川土手 9月下旬
キバナコスモスで吸蜜
わずかながら羽模様はちがう



入笠山 8月下旬 マツムシソウで吸蜜



入笠山 8月下旬 マツムシソウで吸蜜